

# 第一回社長賞はYTMJに輝く

## 七カ国・八サークルが競う

### インターナショナルQCC発表会

「LET'S ALL JOIN TOGETHER HIGH QUALITY, SAVE ALL」をスローガンを掲げ、初年度大会が12月6日、沼津センター・洗心館で開催された。

第一回目である、この世界大会には、七カ国・八サークルが事例発表のため来日し、約四〇〇名の聴講者を前に堂々の発表を行った。

台湾、フィリピン、インドネシア、タイ、アメリカ、メキシコ、ポルトガルから参加した各サークルは、それぞれ母国語でその成果を発表、聴講者は日本語訳の報文集に目をはしらせる。

事例発表はつぎのとおり

①「如何にSPS活率を向上するか」(TYC活躍圏サークル、発表者「陳美玉」)

②「7114-1010端

子ランズ下がり発生原因の五〇割削減」(YTMJウィップス・サークル、発表者「エドナルド・ラミロ」)

③「初品における社外流出不良の撲滅」(EMJエリート・サークル、発表者「アナリ・ヒメネス」)

④「テープ巻き不良の低減」(PEMI MHANDAL Aサークル、発表者「アタス・ソバルカ」)

⑤「HYBALONG TUBE両側斜め切断不良の削減」(TAPCモッド・ガン・ファイ・サークル、発表者「ヒーターとセンサ」の改善」(ELCOM修理屋サークル、発表者「アルツワロ」)

⑦「JOINT枝線方向逆の削減」(AMSA Aサークル、発表者「クリスティン・マールケス」)

⑧「誤配線」(YSPRGロカリサークル・ケレル・エ・コンパニール・サークル、発表者「カルラ・パリヤレス」)

……なお、特別発表事例として、第五回メキシコQCCサークル全国大会で、第一位になった、EWDのTHEER EDESIGNERSサークルが、「切断工程の生産性向上」(発表者「フリオ・ベニテス」)を、そして、前回の矢崎グループQCC大会で社長賞に輝いた、富士工場のチャック・マン・サークルが、「巻き取り2号機紙供給トラブルによる停止回数減少」を発表した。

午前九時四〇分から始まった大会も、午後三時五分、全てのサークル発表が終る。TYCによるアトラクションが行われ、曲芸舞いを全員で楽しむが、途中、聴講参加の



特別発表サークルも含めて八カ国・一〇サークルが表彰された

TAP従業員が踊りの輪に加わり、万場の拍手を浴びていた。

矢崎社長挨拶のあと、成績発表が行われ、記念すべき第一回矢崎インターナショナルQCC発表大会の社長賞は、YTMJのウィップス・サークルの頭上に輝いた。ほかの七サークルは優秀賞で、それぞれ矢崎社長から表彰状と盾が贈られた。

海外事業所のQCCサークル活動は、政治・経済・宗教や地理的条件にも関係なく、全ての生産事業所で導入・実施が期待される。

特別発表サークルも含めて八カ国・一〇サークルが表彰された

されている。それぞれの国のQCCサークル活動は、導入時期の差により、経験を積んだもの、未熟なものなど、いろいろの段階があるものの、グローバル化の時代、相互補完の時代に入っている。市場は一国ではないし、一国の品質レベルに満足してはいられない。状況にあり、海外事業所が一堂に集まる世界大会の意義は、ますます高まるこ

## YAZAKI INTERNATIONAL QCC PRESENTATION



活動の成果を堂々と発表する、海外事業所サークル